

Shipping Guide



日刊(土・日曜、祭日休刊) 昭和50年12月20日 第3種郵便物認可 1部416円
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)
TEL: (03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)
FAX: (03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎: 0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

(4)

SHIPPING GUIDE, Tuesday, March 26, 2019

<第3種郵便物認可>

19年度はTSRでの日欧間コンテナ鉄道輸送

国交省 | SLB復活へ輸送方法など秋にパイロット事業

国土交通省(総合政策局国際物流課)は19年度にシベリア鉄道(TSR)の利用促進に向けたパイロット事業として新たにTSRによる日本~欧州間の貨物輸送を実施する。国交省では18年度にTSR利用の同パイロット事業として日本~ロシア(モスクワ)間 bilateralを対象に実証し今後の活用の可能性を確認したが、さらにその先の欧州向けのtransitサービスとして日欧貨物輸送の活用へ検証するもので、いわばシベリア・ランドブリッジ(SLB)の復活への道を探る。有効な輸送方法(利用輸送モード/ルートなど)、通関手続きなどの課題を、荷主ニーズを踏まえて検証するとともにTSR利用の貨物輸送を荷主

企業などにPRする。

実施時期は、今年夏ごろまでに実施内容(輸送事業者、輸送ルートほか)を確定したうえで秋ごろから順次実施する予定で、昨年の日欧貨物輸送同様に物流事業者から同事業への参加者を広く公募し多様なコンテナ貨物をいくつかのパターンごとに実輸送で試みる。

パイロット事業は今回も日欧政府が協力して実施、ルートなどを変えての複数回のパイロット輸送の実施も検討し、国交省予算要求の調査費から輸送費用の一部または全部を支出、検証結果は公表する。

検証内容の例としては、日欧間の輸送にあたってTSRに加えて、欧州側で利用する最適な輸送モードの

組み合わせ(鉄道、トラック、海運など)。ロシア極東港から欧州を直接結ぶブロックトレイン(BT、直通貸切列車)の存在について確認する。

また、一部の国境経由地では処理能力不足で貨物滞留が派生するなどを踏まえ日欧間の輸送にあたっての最適なルート(経由地)、を探る。この際には輸送方法ごとのリードタイムなどの輸送条件、ロシアを含めた複数国通過のトランジット手続きの確認なども確認する。

このほかに18年度の日欧間TSRパイロット事業で明らかになった課題の、いっそうの検証(ロシア側への改善提案事項の状況確認)なども予定している。